

連載 未来を拓く 

**つなぐ
つくる
プロジェクト**

2020年1月からファイザープログラムの助成を受けて始まった「未来を拓く つなぐ・つくるプロジェクト」やどかりの里の50周年の節目に取り組んだプロジェクトが、見沼の文化や歴史を築く活動に発展していく様子を報告するページです。

第20回 キッチンカー制作資金の獲得のためにご協力をお願いします！

キッチンカーで地域の人たちとつながるために



イメージ図

つなぐ・つくるプロジェクトの地域巡回では、レンタルしたキッチンカーを活用した「旅するお茶の間・つながるくんカフェ」を開催しており、本誌でも活動の様子をお伝えしてきた。キッチンカーでお茶やお菓子、弁当を販売してきたルポーズのメンバーからは、「普段お店で接客するのとは違って和らいだ雰囲気もあり、キッチンカーに多くの人が集まってきてくれる。自分たちも地域の人たちともっと交流したい」「自前のキッチンカーがあったらいいのになあ」そんな声が上がった。その声を実現しようと、本プロジェクトのメンバーでもある設計士の都祭俊一郎さんと三福郁也さんが設計を手掛け、関心のある人が誰でも制作できるよう、素人でも作りやすく、

災害時など被災地でも役立つ軽トラックキッチンカーを提案してくれた。

キッチンカーは移動できるのが強みだ。おいしいお茶、焼き菓子、ランチを載せて、地域を巡回しながら、食と人、人と人をつなげ、その輪を広げていきたいと考えている。

4月から軽トラックの寄贈を呼びかけていたが、ご縁なく数か月が経過したことで思い切って計画を見直し、中古軽トラックを購入することとした。車両代とキャビン部分の制作予算は100万円。3か月間で100万円獲得を目指し、みんなの思いをのせたキッチンカーが来年にはまちなかを走っている予定だ。この取り組みをご理解いただき、ぜひ皆さんのお力添えをお願いしたい。

(目標金額)：100万円(車両購入費50万円、キャビン製作費50万円)

(寄付募集期間)：2022年9月～11月

一口3,000円(3口以上お願いできると助かります)

寄付金控除(税制優遇)が受けられます

(今後のスケジュール)：2022年12月製作、2023年1月始動！！



つなぐ・つくるプロジェクトへの寄付はこちらから

埼玉縣信用金庫 片柳支店

普通預金 0835200

公益社団法人やどかりの里 事務局



クレジットカードも使えます

＝公式 SNS



インスタグラム



ホームページ